7．資産除去債務に関する注記

⑴　資産除去債務とは、当該有形固定資産の除去に関して、法令又は契約で要求される法律上の義務及びそれに準ずるものをいう。

対象としては､本学に存在する有害物質の有無及び除去費用に関する財源措置の有無等を鑑み、以下のとおりとする。

①　「石綿障害予防規則」を根拠とするアスベスト

②　「放射線同位体元素等による放射線障害の防止に関する法律」を根拠とする放射線

③　「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」を根拠とするコンクリートガラ

④　その他個別契約を根拠とする原状回復義務

⑵　支出発生までの見込期間については、本学における有形固定資産の減価償却の会計処理方法である法人税法に基づく耐用年数とする。

割引率については、財務省が公開する国債金利情報のうち、財務諸表作成年度が経過した後に訪れる最初の公開基準日の金利を採用する。ただし、当該情報にない期間の金利については、別に積算することとする。

⑶　当事業年度期首における資産除去債務は534,489千円であり、建物の使用による資産除去債務についての時の経過による当期増加額は9,347千円、期末残高は543,837千円であった。

8．重要な後発事象

該当事項無し

附　属　明　細　書

1．固定資産の取得及び処分、減価償却費(「第84　特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89　資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産(特定償却資産)	建物	9,266,094	33,601	33,510	9,266,186	3,458,326	461,749	22,510	—	3,242	5,785,349	
	構築物	905,098	4,036	28,240	880,894	373,614	46,911	6,269	—	—	501,010	
	工具器具備品	223,285	38,220	1,673	259,832	159,961	31,041	—	—	—	99,870	
	図書	163,082	9	2,243	160,848	—	—	—	—	—	160,848	
	船舶	2,277	—	—	2,277	2,276	—	—	—	—	0	
	車両運搬具	16,057	—	—	16,057	15,939	128	—	—	—	117	
	計	10,575,895	75,867	65,667	10,586,096	4,010,118	539,832	28,780	—	3,242	6,547,196	
有形固定資産(特定償却資産以外)	建物	661,233	230,859	—	892,093	119,083	37,987	—	—	—	773,010	
	構築物	172,695	43,706	—	216,402	30,490	10,708	—	—	—	185,911	
	工具器具備品	826,196	54,622	789	880,029	544,455	140,085	—	—	—	335,573	
	図書	2,108,624	38,443	58,790	2,088,277	—	—	—	—	—	2,088,277	
	船舶	700	—	—	700	431	140	—	—	—	268	
	車両運搬具	8,597	1,900	—	10,497	7,485	1,287	—	—	—	3,011	
	計	3,778,047	369,532	59,579	4,088,000	701,947	190,208	—	—	—	3,386,052	
非償却資産	土地	36,950,016	—	—	36,950,016	—	—	20,304	—	19,230	36,929,711	
	美術品・収蔵品	24,473	—	—	24,473	—	—	—	—	—	24,473	
	建設仮勘定	13,996	80,217	93,793	420	—	—	—	—	—	420	
	計	36,988,486	80,217	93,793	36,974,909	—	—	20,304	—	19,230	36,954,605	